

＜土壌測定を試料採取方法について＞静岡放射能汚染測定室

■土壌、堆肥用の測定申込書に必要事項を記入して申し込み下さい。

＜試料採取に関してのお願い、採取方法＞

①野外の土、堆肥などは、晴れた天候が2～3日続いた後に採取して下さい。（重量あたりで評価しますので、同じ試料でも含水率の違いで測定値が違ってくるためです。雨の直後は雨水の重さが試料の重さに加わるため重量あたりの測定結果が低くなります。）

②土壌は、金属、木片、大きな石等異物が混入しないように採取して下さい。

（土以外の物が混ざっていると、同じ試料でも測定値が違ってきます）

③土（堆肥、川の砂など）は、測定容器に入る 800～1000ml を用意して下さい。重量ではなく、この体積を採取して下さい。

（お手元に1ℓ入りの牛乳パックがあれば、綺麗に洗って乾かしたパックに詰めて下さると量が分かりやすいと思います。そのままお送りください。）

④その他

*1) 面積当たりの評価を希望される方は土壌の採取面積（何cm×何cm）を測定申込書にご記入願います。

*2) 標準採取法では表面から深さ5cmを採取しますが、耕されている場所（田畑、家庭菜園など）や攪拌されているような場所（砂場など）の土壌採取はこの限りではありません。

*3) 採取した土壌を2mmの篩^{ふるい}で篩^{ふるう}うと、試料が均一化して測定しやすくなります。この方法が標準的な測定試料採取方法ですが、篩が無い場合はそのまま構いません。

その他、分からない点がありましたら、測定室にお問い合わせください。

＜問い合わせ先＞ TEL 054-209-2021（月～金 10:00～16:00）

Mail: ssokuteisitu@yahoo.co.jp